

三菱シーケンサ テクニカルニュース

No. PLC-D-488 1/4

2004年 4月

表 題 MD関数の実行でエラーコード77のエラーが発生した場合の処置方法

適用機種 三菱汎用パソコン用ボード
 MELSECNET/Hインタフェースボード , MELSECNET/10インタフェースボード
 MELSECNET(II)インタフェースボード , CC-Linkインタフェースボード
 シーケンサCPUボード , Aバスインタフェースボード

三菱汎用パソコン用ボードに格別の御愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。

三菱汎用パソコン用ボードのMD関数の実行でエラーコード77(メモリ確保エラー)のエラーが発生したときの、処置方法とサンプルプログラムをお知らせします。

(1) 対象機種

No.	品 名	形 名
1	MELSECNET/H インタフェースボード	Q80BD-J71LP21-25, Q80BD-J71LP21G, Q80BD-J71LP21GE, Q80BD-J71BR11
2	MELSECNET/10 インタフェースボード	A70BD-J71QLP23, A70BD-J71QLP23G, A70BD-J71QBR13, A70BD-J71QLR23, A98BD-J71QLP23, A98BD-J71QBR13, A70BDE-J71QLP23, A70BDE-J71QLR23, A70BDE-J71QLP23GE, A70BDE-J71QBR13
3	MELSECNET(II) インタフェースボード	A70BD-J71AP23, A98BD-J71AP23
4	CC-Link インタフェースボード	A80BD-J61BT11, A80BD-J61BT13, A80BDE-J61BT11, A80BDE-J61BT13
5	シーケンサCPUボード	A80BD-A2USH-S1, A80BDE-A2USH-S1
6	Aバス インタフェースボード	A70BD-AF

(2) 処置方法とサンプルプログラム

MD関数の実行でエラーコード77(メモリ確保エラー)のエラーが発生したときの、処置方法とサンプルプログラムを示します。

エラーコード (HEX)	エラー内容	処置方法
77 (4Dh)	メモリ確保エラー メモリが確保できなかった。	他に動作しているアプリケーションを終了する。 システムが正常動作しているか確認する。 システムを再立上げる。 パソコンの最小ワーキングセット領域を大きくする。*1

追 加

*1: パソコンの最小ワーキングセット領域を大きくする方法

MD関数を実行する前に、アプリケーションプログラムで最小ワーキングセット領域を大きくしてください。(下記、サンプルプログラム参照)

パソコンが立ち上がったときは、最小ワーキングセット領域として200KBのエリアが確保されています。

サンプルプログラム

最小ワーキングセットの値を大きく設定するときの、処理概要とサンプルプログラムを示します。

(a) サンプルプログラムの処理概要

GetCurrentProcessID関数でアプリケーションプログラムのIDを取得します。

で取得したアプリケーションプログラムのIDで、OpenProcess関数によりアプリケーションプログラムのハンドルを取得します。

現在の最小ワーキングセット、最大ワーキングセットの値を取得したい場合は、GetProcessWorkingSetSize関数を実行します。

で取得した最小ワーキングセットより大きい値を設定して、SetProcessWorkingSetSizeを実行します。

CloseHandle関数でアプリケーションプログラムのハンドルを開放します。

(b) サンプルプログラム: VBで設定する場合

(最小ワーキングセット値1MB, 最大ワーキングセット値3MBの例)

```
Dim id As Long          ' アプリケーションプログラムのID用変数
Dim ph As Long         ' アプリケーションプログラムのハンドル用変数
Dim wkmin As Long     ' 最小ワーキングセット用変数
Dim wkmax As Long     ' 最大ワーキングセット用変数
' アプリケーションプログラムのIDを取得する
id = GetCurrentProcessID()
' アプリケーションプログラムのハンドルをオープンする
' PROCESS_SET_QUOTA = 256, PROCESS_QUERY_INFORMATION = 1024
ph = OpenProcess(256 + 1024, False, id)
' アプリケーションプログラムの最大ワーキングセット値と最小ワーキングセット値を取得
bret = GetProcessWorkingSetSize(ph, wkmin, wkmax)
' 最小ワーキングセット値を1MBに設定
wkmin = 1 * 1024 * 1024
' 最大ワーキングセット値を3MBに設定
wkmax = 3 * 1024 * 1024
' アプリケーションプログラムの最大ワーキングセット値と最小ワーキングセット値を変更
bret = SetProcessWorkingSetSize(ph, wkmin, wkmax)
' アプリケーションプログラムのハンドルをクローズする
bret = CloseHandle(ph)
```

ここでの設定値は目安です。ご使用になっているシステムに合わせて設定値を調整してください。

(c) サンプルプログラム：VCで設定する場合
(最小ワーキングセット値1MB，最大ワーキングセット値3MBの例)

```
#define ERROR -1
short ChangeWorkingSetSize()
{
    DWORD dwProcessId; /*アプリケーションプログラムのID用変数*/
    HANDLE hProcess; /*アプリケーションプログラムのハンドル用変数*/
    DWORD dwMinimumWorkingSetSize; /*最小ワーキングセット用変数*/
    DWORD dwMaximumWorkingSetSize; /*最大ワーキングセット用変数*/

    /*アプリケーションプログラムのIDを取得する*/
    dwProcessId = GetCurrentProcessId();

    /*アプリケーションプログラムのハンドルをオープンする*/
    hProcess = OpenProcess(PROCESS_SET_QUOTA+PROCESS_QUERY_INFORMATION, FALSE, dwProcessId);
    if(hProcess == NULL){
        /*エラー終了*/
        return(ERROR);
    }

    /*アプリケーションプログラムの最大ワーキングセット値と最小ワーキングセット値を取得*/
    if(GetProcessWorkingSetSize(hProcess, &dwMinimumWorkingSetSize, &dwMaximumWorkingSetSize)==0){
        /*エラー終了*/
        CloseHandle(hProcess);
        return(ERROR);
    }

    /*最小ワーキングセット値を1MBに設定*/
    dwMinimumWorkingSetSize = 1 * 1024 * 1024;
    /*最大ワーキングセット値を3MBに設定*/
    dwMaximumWorkingSetSize = 3 * 1024 * 1024;

    /*アプリケーションプログラムの最大ワーキングセット値と最小ワーキングセット値を変更*/
    if(SetProcessWorkingSetSize(hProcess, dwMinimumWorkingSetSize, dwMaximumWorkingSetSize)==0){
        /*エラー終了*/
        CloseHandle(hProcess);
        return(ERROR);
    }

    /*アプリケーションプログラムのハンドルをクローズする*/
    CloseHandle(hProcess);

    /*正常リターン*/
    return(0);
}
```

ここでの設定値は目安です。ご使用になっているシステムに合わせて設定値を調整してください。



三菱電機株式会社

〒100-8310 東京都千代田区丸の内2-2-3(三菱電機ビル)

お問い合わせは下記へどうぞ

本社機器営業部	〒104-6215 東京都中央区晴海1-8-12 (オフィスタワーZ棟15階)	(03)6221-2190
北海道支社	〒060-8693 札幌市中央区北二条西4-1 (北海道ビル)	(011)212-3792
東北支社	〒980-0011 仙台市青葉区上杉1-17-7 (仙台上杉ビル)	(022)216-4546
福島支店	〒963-8002 郡山市駅前2-11-1 (ビッグアイ17階)	(024)923-5624
関東支社	〒330-6034 さがみ市中央区新都心1番地(明治生命ビル)5F(新都心ビルランドアクシスタワー3F)	(048)600-5835
新潟支店	〒950-8504 新潟市東大通2-4-10 (日本生命ビル)	(025)241-7227
神奈川支社	〒220-8118 横浜市西区みなとみらい2-2-1 (横浜ランドマークタワー)	(045)224-2624
北陸支社	〒920-0031 金沢市広岡3-1-1 (金沢パークビル)	(076)233-5502
中部支社	〒450-8522 名古屋市中村区名駅3-28-12 (大名古屋ビル)	(052)565-3314
静岡支店	〒420-0837 静岡市日出町2-1 (田中第一ビル)	(054)251-2855
豊田支店	〒471-0034 豊田市小坂本町1-5-10 (矢作豊田ビル)	(0565)34-4112
関西支社	〒530-8206 大阪市北区堂島2-2-2 (近鉄堂島ビル)	(06)6347-2771
中国支社	〒730-0037 広島市中区中町7-32 (日本生命ビル)	(082)248-5445
四国支社	〒760-8654 高松市寿町1-1-8 (日本生命高松駅前ビル)	(087)825-0065
九州支社	〒810-8686 福岡市中央区天神2-12-1 (天神ビル)	(092)721-2247

インターネットによる三菱電機FA機器技術情報サービス

MELFANSwebホームページ : <http://www.MitsubishiElectric.co.jp/melfansweb>
 MELFANSwebのFAランドでは、体験版ソフトウェアやソフトウェアアップデートのダウンロードサービス、MELSECシリーズのオンラインマニュアル、Q&Aサービス等がご利用いただけます。FAランドID登録(無料)が必要です。

三菱電機FA機器TEL、FAX技術相談

電話技術相談窓口 : 土・日・祝祭日除く

対 象 機 種	電話番号	受 付 時 間	
MELSEC-Q/QnA/A	シーケンサ一般 (ネットワーク/インテリジェント機能ユニット以外) ネットワーク インテリジェント機能ユニット (ネットワーク以外)	052-711-5111 052-712-2578 052-712-2579	月曜～木曜 9:00～19:00 金曜 9:00～17:00
MELSEC-QUTE	Q00J/Q00/Q01CPU	052-712-2444	月曜～金曜 9:00～17:00
MELSOFTシーケンサ	GXシリーズ	052-711-0037	
プログラミングツール	SW IVD-GPPA/GPPQなど		
MELSOFT通信支援	MXシリーズ	052-712-2370	
ソフトウェアツール			
MELSECパソコンボード	A80BDシリーズなど		
AGOT表示器	GOT-A900/A800シリーズなど MELSOFT GTシリーズ	052-712-2417	
MELSEC計装	プロセスCPU (Q12PHCPU, Q25PHCPU) MELSOFT PXシリーズ	052-712-2830	

FAX技術相談窓口 : 土・日・祝祭日除く

対 象 機 種	FAX番号	受 付 時 間
上記全対象機種	052-719-6762	9:00～16:00(受信は常時)

⚠️安全に関するご注意

本テクニカルニュースに記載された製品を正しくお使いいただくため
 ご使用前に必ず「マニュアル」をよくお読みください。